

# Toilet Topics



## アメニティネットワーク本部 「横浜型地域貢献企業」に認定!

アメニティネットワーク本部(株式会社アメニティ・神奈川県横浜市)が横浜型地域貢献企業の認定を受けました。本制度は、地域を意識した経営を行うとともに、本業及びその他の活動を通じて、環境保全活動、地域ボランティア活動などの社会的事業に取り組んでいる企業等を、一定の基準の下に認定し、その成長・発展を支援する制度です。

するととともに、今後も地域社会の発展に貢献する企業を目指して参ります。



横浜型地域貢献企業について詳しくは... <http://www.idec.or.jp/keiei/csr/>

### ハネオくん 間違え探しクイズ!

AとBのイラストに違うところが5箇所あります。

横浜型地域貢献企業の認定証を授与されるハネオくん。おもわずピース!

今回の難易度 ★☆☆☆☆

正解は編集後記の下に掲載しています。

**A**

**B**

### 主婦ライター・水仙の水に流せない“廁”論

#### 第9回 トイレに個性を出す、オリジナルのピクトサイン!

みなさんは外出先でトイレに行きたいとき、どんなふうを探しますか? 周囲を見回したり、地図を見たりして探すものは... そう、「ピクトサイン」です。一般的に男性はスポンをはいているよ

▲子どもの遊び場のピクトサイン

うな形、女性はスカートをはいたような形のものが多いですね。また、車椅子のマークや杖をついた人、赤ちゃんのマークなどがあれば多機能トイレということがわかります。ピクトサインなしではトイレは成立しない、といっても過言ではありません。

さて、トイレのピクトサインがなぜみんな似たり寄ったりのデザインなのかというと、JIS(日本工業規格)や国際シンボルマークなど、さまざまな規格で定められているからです。「ココ

がトイレだよ」ということが一目でわかるマーク、というわけですね。でも、中にはオリジナルのピクトサインを使っているトイレもあります。男か女か、どんな機能があるか、ということが判別できる範囲でなら、かわいい、おもしろいピクトサインは、利用者のちょっとした楽しみになります。

トイレを提供する側としても、ピクトサインでその施設の個性を出せたらおもしろいと思いませんか? 実は私、ピクトサインを

作ったことがあるんです(写真参照)。これはトイレではなく、子どもの遊び場のピクトサインとして作ったもの。紙を丸や正方形、長方形などに切って何パターンか用意すれば、自分でも意外と簡単に作れます。学校のトイレで生徒たちが考えたり、店舗や商業施設などではスタッフから募集したりするなどしてオリジナルのピクトサインを作ったら、きっと楽しいはず! トイレにこんな遊び心があってもいいですよね。

**水仙 美樹**  
アメニティに約10年間勤務したのち、第二子出産を機に退職。一念発起して、フリーライターの道へ。現在は主婦&ママの視点から地域やアートなどの情報を発信中。トイレウォッチも大好き!

### ハネオくん 間違え探しクイズ!

ごたえ合わせ

**A**

**B**

①看板の形 ④ハネオくんのネクタイの色  
②男性のメガネ ⑤カメラのボタンの形  
③ハネオくんの右手

### あなたの町のアメニティネットワーク

コンナ イイトレ  
アメニティ本部フリーダイヤル 0120-57-1110

# かわや版

トイレを楽しくする新聞

2014 初夏号 Vol. 49

## 特集 トイレで見かける衛生害虫

暖かな陽気とともに、植物は芽吹き、動物や虫たちも活発に動き出します。虫たちの生活区域は人間と共生する事も往々にしてありますが、彼らの活発な活動は、私たち人間にとって快いとは言えないことが多いようです。その証拠にスーパーやドラッグストア、ネットショッピングなどでは、多くの虫対策商品が並ぶのを目にします。

中にはトイレに入り込む虫もいるようで、こちらが身動き取れない状況で遭遇することもあり、その時の不快感は倍増するといえます。

今回のかわや版では、衛生害虫に焦点を絞り、その種類と対策をご紹介します。

#### 【衛生害虫とは】

衛生害虫とは一般的には病気を媒介する虫のことをいいます。また、広い意味では人を刺したりする虫や人に不快感を与える虫などを含めて言うことでもあります(表1参照)。

こうした日本国内の衛生害虫

は、古くから私たち人間の生活と共生してきたものですが、上下水道の普及が進んだことや、生活水準が向上したこと、また強力な殺虫剤の開発などによって、その数は減少してきました。しかし一方で、人間の住環境の向上により、虫たちにとって一年中快適な環境が増えたといえます。

こうした虫たちも春を境に梅

雨から夏にかけて、気温・湿度の上昇と共に加速的に増加していきます。

**【トイレで見かける衛生害虫】**

私たちが毎日利用するトイレも、虫たちの住みかになることがあります。トイレで見かける代表的な衛生害虫は、蛾のような羽をもった小さな飛来虫で、ノミバエ、チョウバエといったハエの仲間たちです。排水管内

や下水管から染み出た水溜り、下水処理施設のスカム(排水中を漂う物質、繊維質、油脂質、細菌が浮上して、水表面にできるスポンジ質の厚い膜状の浮きかす)等が発生源になっています。

その他には、暖かい場所を好む衛生害虫が温水洗浄便座の下に潜んでいる、ということもあるので、普段見えない所も清潔にしておきたいものです。

**【衛生害虫の駆除】**

衛生害虫の駆除には化学的方法と物理的方法が考えられます(表2参照)。化学的方法には虫を寄せ付けないようにする防虫剤と、死滅させる殺虫剤等があります。それらは、人間にとっても有害の可能性が高いので、使用には注意が必要です。

一方、物理的方法では虫の習性を利用して捕獲する方法があります。一般的には、虫が好む光やニオイ、周波数を発して、集まってきた虫を電撃で退治するもの、ファンで袋などに吸引するもの、粘着テープなどに貼り付けるものなどがあります。

**【環境配慮を忘れずに】**

衛生害虫の駆除で化学的方法を使用する場合、それらの薬剤は虫のみならず人間にも有害である可能性が高い事を忘れてはいけません。間違っても、虫の駆除のために安全な生活が脅かされるのが無い様に気をつけましょう。

**▼表1「衛生害虫の大別」**

①病気を媒介する	②吸血・刺咬する	③アレルギーや皮膚炎を引き起こす	④食品を食害する	⑤衣類・家具を食害する	⑥見た目人に不快感を与える
<b>ハエ</b> 例えば... ハエ・蚊など	<b>蚊</b> 例えば... 蚊・蜂など	<b>ダニ</b> 例えば... ダニのみ・蟻など	<b>コクゾウムシ</b> 例えば... コクゾウムシ アスキゾウムシなど	<b>シロアリ</b> 例えば... シロアリ・シミなど	<b>ゴキブリ</b> 例えば... ゴキブリ・蛾 ユスリカなど

**▼表2「衛生害虫の駆除法」**

種類	化学的方法		物理的方法		
	防虫剤	殺虫剤	電撃	ファン	粘着テープ
成分:パラジクロロベンゼン、ナフタリン等	成分:有機リン酸系、ピレスロイド系、カーバメート等	光の波長で虫を集め、寄ってきた虫を電撃格子で感電死させる	光の波長で虫を集め、寄ってきた虫をファンで吸引し、袋に集める	いわゆるハエ取り紙。ニオイと色で虫を集め、寄ってきた虫を粘着テープで捕獲する	
効果	虫が嫌う成分を気化させ、寄ってくるのを防ぐ	虫に直接作用して、死に至らしめる	近寄ってきた虫を瞬間的に電撃で殺傷することが可能	虫を生け捕りにできるため、その場所にいる虫を特定できる(主に調査向き)	どこでも手軽に取り付けができ、貼り付いた虫を逃がさない
欠点	使用されている成分は、発ガン性物質や農薬に指定されている物が多く、化学物質過敏症等、人体に悪影響を及ぼす物が多い		光に集まる習慣のない虫は捕獲できない。また、電撃タイプは虫の焼ける音がうるさく死骸も飛び散る	粘着面一杯に虫が貼りつく捕獲できない。また、貼付いた虫が見えるため、気持ち悪い	

# 文献に学ぶ「トイレ文化」



このコーナーでは、「トイレ文化」に注目し、トイレに関する興味深い文献をご紹介します。

## 第9回 古今東西トイレよもやま話

### 各地のトイレの歴史 2

#### エジプト、テル・エル・アマルナのトイレ

テル・エル・アマルナは、中エジプトのナイル川東岸にある、エジプト第18王朝末の宗教改革王アメンホテプ4世(紀元前1379~62年頃)の都市遺跡です。テーベより遷都されてからツタンカーメン王に放棄されるまで、わずか約15年間の都でした。

この頃のエジプトでは、家の前や道端で、ごみを捨てたり用便を済ますという習慣があり、臭い匂いが家の中にまで入ってきたといわれます。そこで王が、住居には必ず炉を作ることで、そしてトイレを設けることという2つのおふれを出しました。そのため、一般住宅にもトイレが作られるようになったということです。

紀元前1350年頃の住宅から発見されたトイレは、鍵穴状の切り口がある石灰岩製便座が煉瓦の支えの上に乗せられていました。切り口の下には壺が置かれ、排泄物はこの中に溜められ肥料として使われたといわれます。別の住宅



▲テル・エル・アマルナ遺跡の石灰岩製便座(模型)

のトイレでは、支えの煉瓦しか発掘されなかったため、木製便座が使われていたのではないかと考えられ、便座の材質にバラエティーがあったようです。

#### ローマ帝国のトイレ

現在、イタリア共和国の首都であるローマは、伝説によると紀元753年の創建とされる古代都市で、紀元前600年頃までに都市国家としての基礎が築かれました。西洋古代最大の帝国、ローマ帝国はこの都市国家から起こり、395年東西ローマ帝国に分裂、476年西ローマ帝国滅亡、1453年東ローマ帝国滅亡まで存続し、その間に地中海世界を統一、ヨーロッパ文化に大きな影響を与えました。最盛期には、イタリア半島・地中海沿岸を中心に、東は小アジア、西はポルトガル、南はアフリカの地中海沿岸、北はイギリスにおよぶ領域を持つに至りました。各地にローマ都市と呼ばれる植民都市(ロンドン・パリ・ケルン・イスタンブールなどもローマ都市が起源といわれます)を建設し「すべての道はローマに通ずる」といわれたローマ道の網が設けられました。

このようにして、広大な地域にローマ文化を広めましたが、その中に、ローマ人の誇る建築技術を駆使した上下水道施設と、それを利用したトイレ設備がありました。トイレ設備の中でも、水洗式トイレは完成度も高く、技術的にみても素晴らしいものでした。これは、エジプトなど、アフリカ北岸にも作られてお

り、広く使われていたようです。しかし、北方から侵入したゲルマン民族によりローマ帝国は滅亡し、それと共に、ローマ人の誇った水洗式トイレも滅んでしまいます。

#### ローマ帝国のトイレの分類

ローマ人の使用したトイレは、次の4種類に分類されています。

- (1) ラサナ(Lasana)
 

腰掛けて用を足す椅子形便器です。椅子には穴が開いており、その下には、時に金銀製の受け容器が置かれていたそうです。「ラサナ」は「料理」という言葉から出ているといわれます。一般住宅のトイレとして、構造が簡単のため使われていましたが、皇帝用の豪華を彫刻が施された大理石製肘掛椅子形のラサナも存在します。
- (2) ガストラ(Gastra)
 

土の壺を道端に置いたり、埋めたりした簡易公衆トイレです。「ガストラ」という言葉は「胃腸の掘馳」を意味します。これは道路を汚さないため設置されたのですが、もう一つ、目的がありました。ローマ人は、石炭製造のための原料として尿を用いていました。そこで、尿を集めるため、ガストラが利用されたのです。
- (3) クロアキナ(Cloacina)
 

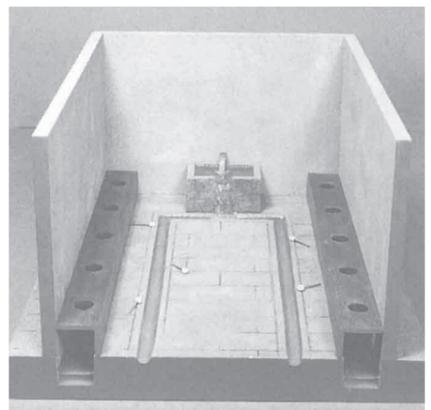
水洗式公衆トイレのことです。「クロアキナ」という言葉が「溝水道」を意味するように、上下水道が建設されたことにより、このようなトイレが作れるようになりました。都市においては糞尿を肥料とする必要がないため、水洗によって衛生的に処理する方法がとられたのでしょう。公衆トイレだけでなく一般住宅においても、トイレが水洗化していきました。
- (4) ラトリナ(Latrina)
 

水洗式個人(一般)住宅用トイレのことです。「ラトリナ」は「水洗曹(すいせんそう)」を意味する「ラヴァトリナ」から転じた言葉で、「ラヴァレ」には「洗う」という意味があります。

#### ローマ帝国の水洗式公衆トイレ「クロアキナ」

ローマ都市における中央広場、劇場、公衆浴場など、公共の場所には、完備した上下水道を利用した、水洗式公衆トイレが設けられました。315年ディオクレチヌス帝の頃、ローマには144カ所も公衆トイレがあり、その大部分が水洗式であったといわれます。

公衆トイレには、等間隔に用を足すための穴が開いた長椅子形便器が壁際に設置されていました。仕切りのない便座に座り、壁に背をもたせ掛け、話をしながらゆっくり用を足すローマ人の姿が偲ばれます。200年頃のアントニヌス公衆浴場には、入浴やスポーツをしに来た客のため、巨大なトイレが設けられていますが、ここには用を足すための穴が1,600カ所も開けられていたそうです。便座の下は排水溝になっており、排泄物はここを流れる水で処理されます。お尻は、床に置かれた、棒の先に付けられたスポンジ(海綿)で拭き、汚

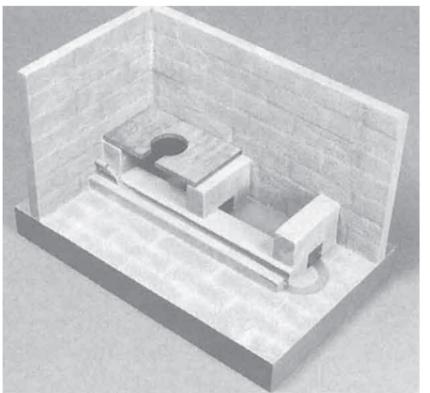


▲ローマ帝国の水洗公衆トイレ「クロアキナ」(模型)

れたスポンジは、足元の小溝を流れる水ですすぎ洗います。手は、給水口の下に設置された水槽で洗います。

#### ローマ帝国の水洗式個人住宅用トイレ「ラトリナ」

79年、ヴェスヴィオス火山の噴火により埋没した古代都市ポンペイで、発掘された住宅からラトリナが見つかっています。



▲ローマ帝国の水洗式個人住宅用トイレ「ラトリナ」(模型)

部屋の隅に奥から順に、腰掛け用、しゃがみ用、小使用の3種類が設置されています。壁の給水口から、腰掛け用、しゃがみ用の足元にある小溝(クロアキナと同様、お尻を拭くスポンジをすすいだのでしょう)を通して、小使用に至った水は、糞尿を処理するために、しゃがみ用、腰掛け用便器の下を流れ、排水されます。



【出典】トイレの考古学・講演編(120-123頁)より転載  
編集:大田区立郷土博物館  
発行者:村山弘二  
発行所:東京美術  
発行:1997年5月30日

#### 中世ヨーロッパのトイレ

476年、ローマ帝国を滅亡させたゲルマン民族は、ヨーロッパ各地に進出、定着していきます。このゲルマン民族大移動は、その後、約1,000年間続いた中世ヨーロッパ社会成立の基礎を作ることになりました。

もともと牧畜、農耕の民であったゲルマン人は、ローマ人のような水洗式トイレを持ちませんし、大移動の混乱期にトイレなどにかまっていられなかったという言い訳も立つかもしれませんが、彼らが広めたのは、原始的な糞尿処理方法でした。トイレといえば糞尿溜(付腰掛形便器で、排泄物の垂れ流しは日常茶飯事の事だったようです。

トイレ文化の停滞は、民族大移動が終わり、キリスト教による秩序のもとに中世文化が華開いても変わることはありませんでした。サラセンやノルマンの侵攻に対抗するため各地で築かれた城には、水洗式ではないにしろトイレの設備はありました。しかし、しだいに、おまるや浅瓶のような持ち運びのできる便器が重用されるようになり、溜まった排泄物を建物の外に投げ捨てる習慣が定着していきます。

そのため中世は、西洋史では「暗黒時代」と呼ばれますが、衛生史においては「不潔時代(Dirty Days)」と呼ばれます。